



# ぎんなん

中原小だより（中原小校長室）  
第35号  
R1.11.1

## 今年のノーベル賞について



2学期制の中原小学校では、10月11日（金曜日）に前期の終業式を行いました。今年もまたノーベル賞の受賞者のことを話しました。

今年ノーベル化学賞を受賞された吉野彰教授の写真を見せたら、結構知っている子どもが多くびっくりし

ました。

吉野教授の研究は子どもたちにも関係深く、このリチウム電池の研究がなかったら、みんなの好きなゲームができなかったかもしれないと話したところ、興味津々で聞いていました。実際今のようなりチウム電池がなかったら、私たちの生活はどうなっていたでしょうか。

中原小学校の子どもたちの中からも、吉野教授のように人々の生活の役に立つものの発明家や研究者が出てくれたらいいと思います。

## がんばった中北部音楽会での合奏 & 合唱



10月24日（木曜日）一の宮小学校の体育館で中・北部音楽会が開催されました。保護者の方々も応援にいらっしやうで、応援ありがとうございました。

今年は「宇宙戦艦ヤマト」の合奏と「ぼくのひこうき」の合唱

を31人でしっかりがんばりました。今回も他の学校の校長先生方からも「素晴らしい発表ですね。」と声を

かけていただきました。11月3日（日曜日）の町文化祭や16日（土曜日）のぎんなん祭での発表を楽しみにしておいてください。

## 校長会の全国大会（秋田大会）に参加して



後期が始まって最初の週に全国の小学校校長会の研究協議会が秋田で開催されました。子どもたちや先生方に迷惑をかけましたが、阿蘇の校長代表の一人として参加してきました。

研究協議会自体は校長の研究会ですが、いろい

ろなことを学ぶことができました。その内容の一部を紹介します。

分科会では、「学校安全」というテーマで、子どもを災害や事故、事件から守ることを中心に協議する分科会に参加しました。グループごとの話し合いもあり、全国から集まった校長先生方から、ニュース報道があったような大きな事件事故が近くで起こったという貴重な話も

聞くことができました。阿蘇では起きないだろう、南小国町では起きないだろうという油断した気持ちを持つのではなく、どこでも起こりうるという危機意識を常に持って、対応を考えておかなければならないと改めて思いました。

また熊本地震については、地震を経験した校長の一人としてその時の学校の対応など話したところ、東京や愛知の校長先生から「やはり経験した話は違う。大変勉強になった。」という言葉いただきました。

しっかり勉強してきたことは、中原小学校の学校経営に活かしていきたいと思っています。



- ◆自分事としての防災意識の向上
- ◆各教科等の関連を図った体協的活動の充実
- ◆校長会の働き掛けによる防災システムの確立
- ◆地域・関係機関と連携・協働した防災訓練